

■令和3年度 市長をかこむ会

江戸岡地区 R3.12.1 (水)

19:00~20:33

場所: 江戸岡地区公民館

出席者	住民	28人	市 大城市長・垣内産業建設部長 政策推進課 菊地補佐・松野補佐
-----	----	-----	------------------------------------

担当課	事項	要望内容等	かこむ会での回答
生活環境課	※事前質疑 広域ごみ焼却 場計画の進捗 状況について	広域ごみ焼却場計画の進捗状況はどうなっているのか。	ごみ処理広域化については、平成14年12月から旧7町(三崎・瀬戸・伊方・保内・三瓶・宇和・明浜)の可燃ごみを受け入れ、平成29年4月からは旧野村町、旧城川町の可燃ごみも受け入れて、2市1町(八幡浜市、西予市、伊方町)の広域化が実現し、現在に至っている。 今年度、愛媛県では、可燃ごみについて10年後を目途に、南予北部、八幡浜(西予、伊方を含む)・大洲・内子の広域化の計画を進めているようである。
総務課	※事前質疑 自主防災会に ついて	各個人、地域で自主防災を中心として、自身の安全確保と近隣住民の協力による互助も期待される中、これらを推進していくメンバー(自主防災会)の役割を主事が兼務することがないように、専属の担当者を設置し、日頃から、これに備える活動が進むようにしてほしい。	自主防災組織は、「自分の住んでいるまちは自分で守る」という考え方を基本に地域住民が自主的に結成する組織であり、平常時には防災訓練や研修等、発災時には、地域の先頭に立って住民の避難誘導や安否確認、さらに大災害時には避難所運営などの役割を果たす、共助の要の組織である。地域コミュニティの中で、顔の見える関係を通して、普段から地域のことを熟知しているというメリットを生かし、防災会役員や防災士を中心に、住民を巻き込みながら、地域に密着した防災活動を展開しており、今では、消防団とともに地域防災を支える大きな力になっている。 市職員を各地区に配置しても、職員は災害時には市役所の任務に当たる必要があるため、うまく機能しないと考えている。地区を知る人が防災のリーダーになってもらいたい。消防団経験者など地域の人材を発掘し、しっかりとした組織を作してほしい。市は組織を作るうえでの支援をしていきたい。
総務課	※事前質疑 津波避難ビル について	大雨による避難所は、市から事前に指定された施設を案内されているところだが、市の防災訓練における大津波警報発令後の案内は、高台や一時避難場所への避難案内となっており、津波避難ビルも含まれている。 津波警報等で避難の呼びかけがある場合は、市からビル管理者へ利用についての連絡をしているのか。	津波避難ビルは「津波避難ビル等としての使用に関する協定書」を22か所と締結しており、津波警報や大津波警報が発表され、避難指示を発令した場合等に高台などへの避難が困難となり、やむを得ず緊急的に一時避難するための建物として使用する。 協定では、施設利用前の通知をすることとしているが、緊急の場合は事後通知が可能となっている。実際の場合では、防災無線による住民への避難の呼びかけが通知の代わりになると考えている。 なお、土日や夜間に津波が起こった際は避難受入に時間がかかる施設もある。津波に対する避難の考え方は、「より早く」「より高く」が基本であり、発災時においては、近くの高台などへ迅速に避難することが重要になる。必ずしも「津波避難ビル」に避難しなくてはならないということではない。平常時から家族や地域の自主防災組織、自治会などで複数の避難場所を確認しておくことが重要になる。
総務課	※事前質疑 津波避難ビル について	災害時、津波避難ビルには誘導員が配置されるのか。	南海トラフ巨大地震の被害想定によると、本市では、1mの津波が地震発生から51分後に到達する想定になっており、この場合、市が誘導員を配置する時間的余裕はないと考えている。施設に管理者がいる場合は、その指示に従って避難していただくことになる。

担当課	事項	要望内容等	かこむ会での回答
総務課	※事前質疑 津波避難ビル について	誘導員がいない場合、ビル内で避難者が利用できる場所、できない場所等が指定されているのか。	津波避難ビルは、建物の4階以上の面積で収容人員を算定している。津波災害時に、誘導員がいない場合でも、施設の内部や外側の階段から、建物の4階以上のスペースを目指して避難してほしい。
総務課	※事前質疑 津波避難ビル について	災害は時を選ばないので、津波避難ビルが無人、施錠されている場合等における対処マニュアルや利用マニュアルの作成や周知を行う必要があるのではないか。	ご指摘のとおり、夜間、休日等時間帯や、無人、施錠等の関係で、受け入れに時間がかかるケースが想定される。公共施設の場合は、地震の後に駆け付けた職員が開錠するが、無人の民間施設の場合は、開錠に時間がかかるケースが想定される。鍵の場所を事前に共有することは難しいと考えているが、今後、時間帯で、無人、施錠状態になる津波避難ビルの所有者と緊急時の開錠方法について協議したいと考えている。
総務課	※事前質疑 津波避難ビル について	江戸岡地区における新たな津波避難ビルの指定はないのか。	津波避難ビル等の指定を検討する際の構造的要件は、(1)耐震性耐震診断によって耐震安全性が確認されていること、または、新耐震設計基準に適合していること、(2)津波に対する構造安全性原則としてRCまたはSRC構造とし、想定浸水深に応じて、階数や、津波の進行方向の奥行きを考慮することとしている。 江戸岡地区において、現在のところ、津波避難ビルを新たに指定する予定はない。
生涯学習課	※事前質疑 文化活動センター について	稼働状況は？ 映画の入り具合、ピアノ、ドラムスなどの部屋など。	八幡浜市民文化活動センターは、昨年8月末にグランドオープンし、コロナ禍ではあったが、多数の方にご利用、ご来場いただいている。 まず、映画上映会については、2019年1月に大洲の映画館が閉鎖され、南予地域に映画館がない状態が続いていた。市民の皆さんの熱い思いにより、大きなスクリーンで映画を鑑賞していただく機会を提供しようと、センターのホールに設置している400インチのスクリーンと20,000ルーメンの高輝度プロジェクターを活用し、毎月、第3土日を中心に映画上映会を開催している。昨年9月より40作品上映し、延べ3,439名の方にご来場いただいた。最近ではリピーターの方も増え、1回の上映で100名前後の方にご来場いただいている状況である。 次に、音楽練習室・スタジオについては、まだまだ施設を知らない方も多数いらっしゃるのではないかと思います。また、コロナ禍であったこともあり、稼働率は3割程度に留まっている。しかし、ご利用いただいた方からは、「これまでカラオケボックスに楽器を持ち込み練習していたので、このような施設ができてありがたい」「非常に安い金額で利用ができる」と大変好評で、一度ご利用いただいた方のリピート率は非常に高い状況である。 具体的な利用内容は、ピアノ練習やドラム練習、バンド練習、金管・木管楽器の練習のほか、スタジオでのダンス練習やヨガのサークル活動など多種多様なもので、年齢層も小学生から高齢者まで幅広くご利用いただいている。さらに、市内にお住まいの方だけではなく、大洲や西予、伊方といった近隣市町のほか、遠くは松山や宇和島からご利用になられる方もいらっしゃる。

担当課	事項	要望内容等	かこむ会での回答
生涯学習課	※事前質疑 市民ミュージカルの開催について	コロナ禍の中、大変難しい状況だとは分かっているが、次回「市民ミュージカル」の開催を計画してほしい。通常開催は無理かもしれないが、縮小規模でも良いと思う。 市外からの集客にもつながると思うので、色々な面で八幡浜市にとってプラスになるはずであり、文化はまちを変えることができると思う。	市民ミュージカルは、過去に2度行っている。平成28年が二宮忠八翁の生誕150年の節目の年にあたることから、「二宮忠八物語」、令和元年には「北針」を実施した。 3年に1度の開催を考えており、令和4年が開催の年であるが、コロナの状況により、令和4年の開催は難しいと考えている。令和5年が、ゆめみかん開館25周年にあたるため、25周年事業の一環として、第3回の市民ミュージカルを開催したい。過去2回は旧八幡浜を題材にしたので、第3回は旧保内の前田山英五郎、二宮敬作、富澤赤黄男などがいいと考えているが、お薦めの題材があったら、連絡してほしい。
総務課	津波避難ビルについて	避難訓練の際、JAにしうわ本店に集まり屋上に避難するようになっているが、JAに施設を開けるなどの協力をしてもらったことがない。市からJAに連絡はしているのか。	把握していないので、後で確認する。JAには避難訓練の際、協力してもらうよう連絡する。 【補足】 年に1回の市防災訓練の津波避難訓練で、津波避難ビルを使用する際は、地区の自主防災会から、直接、ビル所有者(管理者)に連絡・調整をお願いしているため、市からJAに連絡していない。
生涯学習課	市民文化活動センターの映画上映会について	上映時間のほとんどが昼なので、昼行くことができない人のために、夜19時からなどの上映も検討してほしい。	夜の時間帯の上映について、検討したい。
建設課	市道双岩鳥越峠線の管理について	市道双岩鳥越峠線の管理が疎かになっている。垂れ下がっている枝の伐採、除草、側溝の清掃、倒木の撤去等をお願いする。刈った草の除去もお願いするので、引き直してほしい。	特に危険な場合は、早急に対応する。予算に限りもあるので、優先順位を決めて対応したい。指摘のあった路線については、建設課に対応を指示する。 【補足】 当路線は、年1回の除草作業を行っているが、今年度は除草、路側の土砂撤去、上部の支障木撤去を行った結果、上部の支障木撤去については、道路維持予算の都合上全路線を行うことができなかった。来年度、未施行区間の上部の撤去を早急にとりかかる。 中央分離線については、公安委員会の管轄であるため、市危機管理とも相談して八幡浜警察署へ進達していく。
農林課	農作業者の安全確保について	みかんアルバイターを含めて柑橘生産者が防除作業をする際、マスク・メガネ・雨合羽などの装備が不十分で健康を害している場合がある。作業ごとに実態を確認し、問題点を改善するよう指導してほしい。	JAが実施している摘果講習や剪定講習に併せて、労働安全の講習もしてもらいたいと思うので、JAに依頼したい。市は労働安全に関する啓発などを実施したい。 【補足】 JAでは、年間5～6回の講習会を実施している。全部会員を対象の防除説明、保護メガネ着用や毒性(魚毒含)についての説明を行い、労働安全を啓発している。また、空調服着用等の健康管理(労働安全)も啓発したり、農業機械による安全講習パンフレットを配布している。市としては、令和元年度に広報やわたはまに農薬散布等の注意喚起の記事を掲載したことがある。今後、広報やわたはままで労働安全に関する啓発を実施していく予定。

担当課	事項	要望内容等	かこむ会での回答
総務課	愛宕山プロジェクトについて	愛宕山は、白浜小・江戸岡小・愛宕中の通学路にもなっており、工事中の安全面が心配である。 工事に併せて、街灯の整備、車道と歩道の境を設けるなど、安全な通学路の整備もお願いする。	愛宕山プロジェクトは5年、10年の長い期間の事業になるため、通学路で危ない箇所があれば、プロジェクトとは別に対応を検討したい。
生涯学習課	若者が楽しめる場所について	マクドナルド、松柏のジョイフル、ツタヤなどが閉店し、若者が楽しめる場所が少なくなっている。今後、若者が楽しめるような施設の整備も検討してほしい。	みなと前の青木公園でスケボーをしている若者が多い。令和4年度には、若者が楽しめるスケボーなどの施設整備を考えている。
生活環境課	市外の可燃ごみ受入について	西予市と伊方町から受け入れている可燃ごみについては、料金を徴収しているのか。	施設整備の経費、運営費、受け入れたごみの重さに応じて年単位で料金を徴収している。
商工観光課	双岩の駐車場について	双岩に新しく整備されている駐車場は何なのか。	市が整備した駐車場で約100台駐車できる。旧双岩中学校に移転する四電グループの社員が主に利用するが、一般の方も利用できる。一区画月額3,300円である。 【補足】 令和4年2月1日供用開始。一般向けの募集は12月議会上程の条例改正案可決後、市HPや広報誌を通して開始したい。
商工観光課	マクドナルドの誘致について	八幡浜のオレンジベイクスは、マクドナルドのハンバーガーのパーティの4割を生産している。賑わい創出や若者の楽しめる場所として、マクドナルドを市内に誘致してほしい。	誘致に向けて努めていくので、市民の方も一緒に声をあげてほしい。 【補足】 マクドナルドの出店は、出店形態(ドライブスルー、ビルインタイプ、フードコートタイプ)により必要な広さが決められているほか、現地周辺交通量、近隣施設環境などをチェックの上決定されることになっている。まずは誘致条件を満たす場所や物件があるか調査・研究したい。
水道課	愛宕山の水道工事について	現在、愛宕山で水道の工事を実施しており、家の近くをトラックが通行するが、スピードの出し過ぎなど乱暴な運転である。	担当課を通じて、業者に指導する。 【補足】 該当業者には、運転等十分に注意するよう指導を行った。